

亜細亜大学の個性 を考える

栗田 充治

平成のイノベーション

衛藤 藩吉 学長

- AUAP (希望者全員5ヶ月アメリカ留学)
- テレビCM
- 偏差値より個性値「**ユニーク推薦入試**」
- **ネイティブ教員による週5日の英語教育・FE**
- 国際関係学部開設



文化活動推薦
偏差値に一石
多様な学生
誠実な人材

Gifted skill

一芸一能入試

偏差値より個性値 1989年開始



一芸一能学生は
やる気満々

目標が明確

Motivation

4度のオセロ世界チャンピオン
高梨悠介氏(本学出身)

多様な背景を持つ 受験者への配慮

留学生、帰国生、特別な支援を必要とする者、
中退者の再挑戦、社会人、地域貢献を志す者、
特定分野で卓越した能力を磨いてきた者など

入試改革

一芸一能はタレント入試か？

	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
志願	149	694	971	487	419	273	188	125	136
合格	45	126	139	104	62	47	37	28	34
芸能	22	48	50	45	30	19	22	18	18
タレント	2	4	4	11	5	5	7	4	4

一芸一能生の卒業時学業成績

	学部1期・ 短大3期生	学部2期・ 短大4期生	学部3期・ 短大5期生	学部4期・ 短大6期生
上位	33.3%	29.7%	23.0%	27.9%
中位	36.4%	39.6%	28.3%	29.1%
下位	30.3%	30.7%	48.7%	43.0%

在学生の亜大イメージ向上

	1984年	1988年	1991年
解放的	27.5%	37.1%	60.9%
のびのびした	28.3%	37.5%	57.4%
明るい	10.7%	18.8%	49.7%
自由	29.9%	39.9%	57.4%
充実した	14.5%	15.9%	27.7%
暖かい	24.0%	22.2%	37.7%
進歩的	8.2%	36.9%	56.4%

第一志望が増加

入学時の 志望順位	1年生 (1991入 学)	2年生 (1990入 学)	3年生 (1989入 学)	4年生 (1988入 学)
第一志望	61.3%	57.9%	51.8%	39.0%

第一志望（その後の調査）

入学時の 志望順位	1996	2000	2003	2007
第一志望	56.4%	49.3%	50.6%	48.9%

「他大学が不合格」入学動機が減少

	1984	1988	1991
「他大学が不合格 となったから」第1 位選択割合	40.4%	31.1%	23.6%

「他大学が不合格」入学動機のその後

	1993	1996	2000	2003	2007
他大学 不合格	21.7%	15.4%			25.1%
偏差値 が適合			36.4%	36.5%	

建学精神に惹かれて、伝統・学風に惹かれて、カリキュラムの魅力、国際交流が盛ん、を入学動機第1位にする者が増加

	1984	1988	1991
4項目第1位 選択割合合計	11.0%	18.2%	39.7%

4項目入学動機第1位のその後

	1993	1996	2000	2003	2007
4項目	44.0%	34.4%			57.5%
国際とカ リの2項 目		建学と学 風を同一 項目に	72.4%	61.6%	

他大学での導入増加

推薦 対象	ス ポ ー ツ 系	文 化 芸 術	ボ ラ ン テ ィ ア	リ ー ダ ー シ ッ プ	英 語 検 定	TOE FL ス コ ア	簿 記 検 定	珠 算 検 定	情 報 処 理 試 験
1997	206	155	106	106	126	70	101	45	106
1996	184	141	88	95	115	60	104	42	104

亜大生のイメージは「個性的」？

	受験生	保護者	周辺住民
個性的である	41.4%	44.2%	55.6%
語学に長けている	2位14.6%	2位28.8%	8位25.4%
精神的にタフである	3位14.2%	3位26.9%	3位31.1%
面白味がある	8位10.0%	8位28.8%	2位39.8%
礼儀正しい	11位7.9%	11位26.9%	7位27.2%

教職員会と旅行

職員の熱烈指導 Educator

学生自治会の熱い思い・FOC

Three Surprise

亜大で驚いた3つ



FOCから「出会いの広場」へ

47年の歴史
補助学生1万人

大学を応援する学生が育つ

イランにて1991

小山内美江子
団長

奥克彦書記官

クルド難民
救援活動



受験生の亜大イメージ

	受験生
知名度がある	51.9
スポーツ活動に熱心に取り組んでいる	36.0%
グローバルである・国際交流が活発	35.6%
留学生を多数受入れ	33.9%

亜大の個性をどう捉えるか

- 1 「個性値」重視
- 2 学生の自主性を重んじる
- 3 ボランティア・社会貢献重視
- 4 国際交流路線

亜大の個性を形作った出来事 ～3つの危機

- 1 戦後再出発の苦難
- 2 1953中国人留学生96名
- 3 亜細亜大学創立と校舎建設費



武蔵境駅北口に建てられた留学生歓迎のタワー

アジアの7言語含む14言語開設

英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、
ロシア語、ポルトガル語、アラビア語、**中
国語、韓国語、ベトナム語、モンゴ
ル語、ヒンディー語、タイ語、インド
ネシア語**



アジア夢カレッジ

— キャリア開発中国プログラム —



中国で学び、ビジネスの現場を知る
産学連携のキャリア開発プログラム



AUAP

ASIA UNIVERSITY AMERICA PROGRAM



亜細亜大学アメリカプログラム

「生きた英語の習得」と「異文化理解」、そして「自己の新発見」を主目的とした亜細亜大学独自の留学制度です。

Profile

野口 博輝

Hiroki Noguchi

国際関係学部国際関係学科3年
派遣先大学:
セントラルワシントン大学
(アメリカ・ワシントン州)



派遣先大学のサッカー部に入るなど、 現地の生活に飛び込み成長

最初の数週間はカルチャーショックの連続でした。コミュニケーションのとり方や生活スタイルなど、日本では当たり前だと思っていたことがアメリカでは通用しない。でもこれが留学なのだと言を切り替え、固定観念を捨てて相手の懐に飛び込むことで、次第にストレスを感じなくなりました。また、授業では意見を

求められることが多かったので、緊張することなく人前で発言できるようになった点で大きな成長です。派遣先大学にサッカー部があったのですが、先生にお願いで入れてもらいました。他大学との試合にも参加することで、サッカー部の友だちができました。言葉はもちろん大事ですが、言葉がなくても通じあえるものがあることを肌で感じました。これからは英語力を高め、サンクスギビングやクリスマス休暇に家族の一員として受け入れてくれたホストファミリーに会いに、いつか「もどりたい」と思っています。



ホームステイ先の家族とも仲良くまりました。

シアトル市水と緑に囲まれていることから「エメラルド」という愛称で呼ばれている。ダウンタウンはコンパクトで歩きやすく、100以上の観光を満喫できるハイキングコース、マーケット、美術館、カフェなどを手軽に楽しむことができる。

私の留学 STEP

大学1年 / 2年前期

大学2年後期
AUAPアメリカ
(5か月間)

大学3年

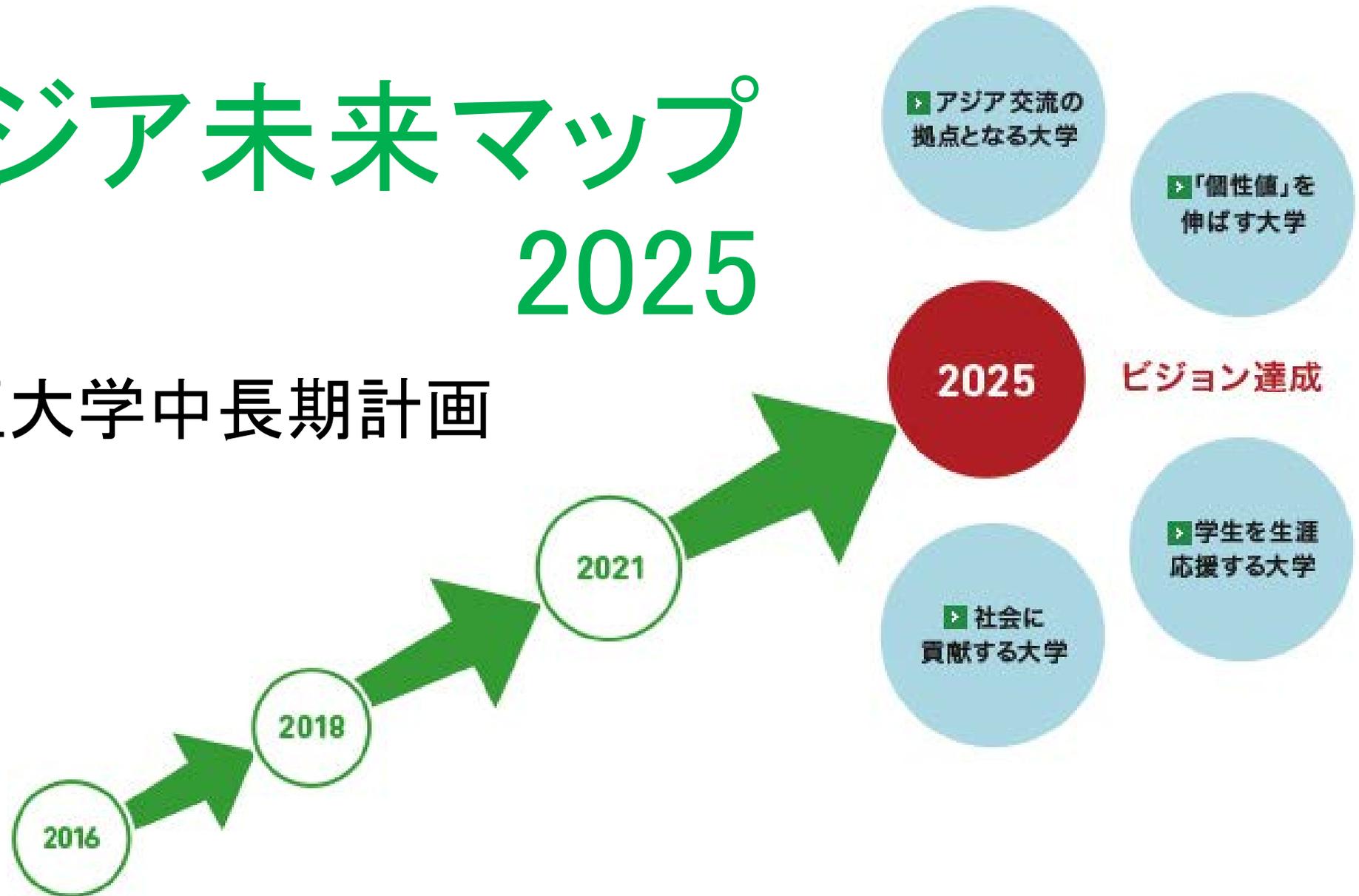
私が留学で得たチカラ

リーダーシップ

高校時代はサッカー部の副キャプテンで、任せられればやる、というタイプでした。でもアメリカでは自分の殻を破り、クラスでは積極的に発言し、イベントを企画するなど意識して行動しました。周りにどう思われるかよりも、まずやってみる。これがリーダーシップ力の向上につながったと思います。

アジア未来マップ 2025

亜細亜大学中長期計画



ミッションのリニューアル

亜細亜融合に新機軸を打ち出す人材を育成



多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する
創造的人材を育成

アジア未来マップ2025

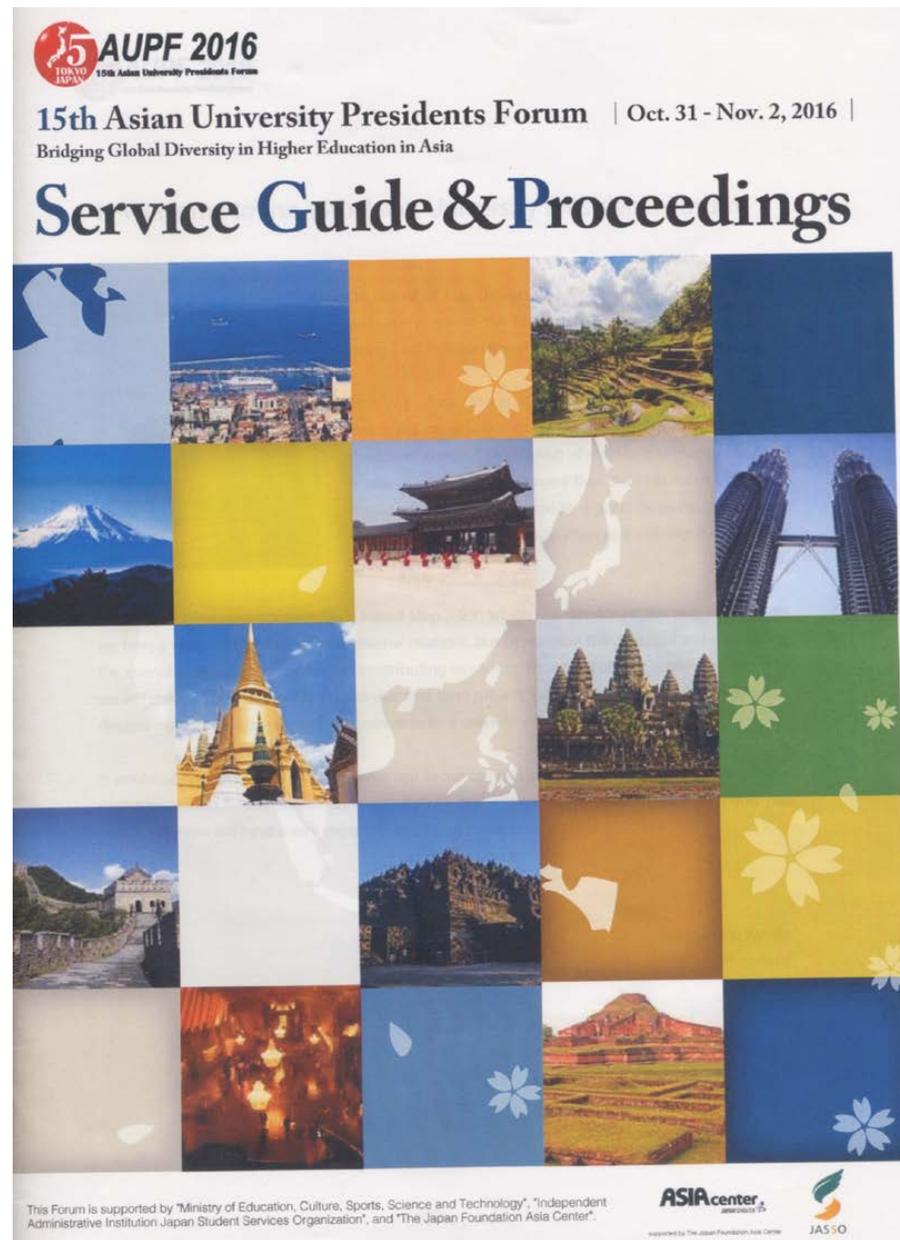
4つのビジョン

- 1 アジア交流の拠点となる大学
- 2 「個性値」を伸ばす大学
- 3 学生を生涯応援する大学
- 4 社会に貢献する大学

アジア交流の拠点となる

- 1 ASEAN奨学金留学生プログラム
スタート
- 2 都市創造学部開設 (ASEAN諸国
5ヶ月間留学)
- 3 吹奏楽団日中友好親善演奏会

第十五回
アジア学長フォーラム
日本で初めて開催
2016年10月



アジア研究所を核にアジア研究

研究ブランディング事業に
応募

学生を生涯応援する

卒業生ネットワークを構築

ホームカミングデイのやり方を工夫

社会に貢献する

アジア自助協力ネットワーク準備会を設立

東京オリ・パラボランティア

災害ボランティア

など1,000名確保を目標

3か年計画を各部局から提出

それに基づく予算査定

1～2月 予算会議9回

毎年、PDCAサイクルを回す

3か年教員採用計画を各学科から提出

それを検討して人事計画を策定

共通教育担当教員の所属変更希望を受付け

亜大の取り組みに関する 高校教員の認知度

個性 値 重視	留学 制度	海外イ ンター ンシッ プ	アジア 交流 の 拠点	出会 いの 広場	父母 会	アジ% ア 夢カ レヅジ	社会 貢献 重視	FE
52%	50%	28%	22%	15%	15%	12%	11%	9 %

高校教員で評価分れる 「個性値」重視

「個性値」重視 とても魅力的	「個性値」重視 魅力を感じない
24.3%	28.3%